胃部 X 線検査（胃バリウム検査）に関するご注意とお願い

胃部 X 線検査（胃バリウム検査）を安全に受けていただくために、下記を必ずお読みください。該当する疾患のある方は、事前に主治医にご相談の上、検査をお受けください。

- 以下の方は原則として受けられません。事前にお申し出ください。

※腸閉塞

※バリウムアレルギー

※1年以内の腹部の手術後（婦人科疾患や鼠経ヘルニア含む）

または大きな手術後（心臓・肺・脳）

※大腸のポリープ切除後2ヶ月以内

（主治医の指示がある場合はそちらに従ってください）

※水分制限のある方

※椎間板ヘルニア、手のけが等にて体位変換や手すりの保持が難しい方

※人工肛門（ストーマ）装着の方

※極度の便秘

※80歳以上の方

当日血圧が非常に高い場合（180/110）、検査中止になる場合があります。

体重130kg以上の方は、耐荷重の問題から検査をお受けいただくことができません。

血圧の薬をお飲みの方は、当日の起床後すぐ少量の水で内服してから来院ください。

- 以下の方は注意が必要です。検査前にお申し出ください。

※これまでにこの検査でバリウムが気管や肺に入った経験のある方

※潰瘍性大腸炎・クローン病・胃潰瘍にて治療中の方（主治医にご確認ください）

※憩室炎の既往のある方

※当日体調のよくない方

※**インスリンポンプ並びに持続血糖測定器（モニター）**

- 入れ歯安定剤を使用されている方は、バリウムが変化して胃壁への付着不良をおこすことがあります。あらかじめ技師にお申し出ください。

- 授乳中の方はお渡しする下剤が異なりますので、検査後に技師にお申し出ください。

- 上記疾患のため、バリウムの検査が受けられない方は、上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）にて胃の検査をうけられることをお勧めします。また、ピロリ菌陽性の方および除菌後の方も定期的な胃カメラの検査が推奨されています。胃カメラに変更希望の場合はセンターまで電話でご連絡ください。

- 当日の健康状態や身体状況により、医師の判断で中止になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

- **午後受診の水分制限について**

2時間まで200cc、4時間前まで300cc飲めます(当日合計で500cc以上飲まないようご注意ください)